

◇各幼稚園・小学校・中学校における特色ある取組について◇

近年、急速な技術の進歩や社会の変化により、子どもたちが成長する環境は複雑で多様化し、単に知識を得るだけでなく、自己成長や社会的なスキルを身に付けることができる学びの場が必要となっています。

また、現代の子どもたちは、さまざまな情報や刺激に触れる機会が増え、多様な意見や価値観に接することが日常化しているため、自ら考え判断して問題を解決するために、他者と協力する能力が求められています。

したがって、教育の役割は単なる知識の伝達にとどまらず、子どもたちが幅広い視野を持ち、多様な価値観を尊重し、自己実現を果たすための力を身につける支援をすることが重要です。

そのような中で、南丹市では、子ども一人ひとりへのきめ細やかな教育を実現するため、各園校が持つ特色や課題を整理し、強みを活かした教育活動を実践しています。各校の実践から学び、自校の教育に取り入れ、教育の質の向上を目指し、1枚のシートにまとめて「見える化」しています。

分かりやすく周知するために、市のホームページにて発信していますので、ぜひ一度ご覧ください。

南丹市教育委員会 教育長 國府 常芳



園部幼稚園



八木中央幼稚園



園部小学校



園部第二小学校



八木西小学校



八木東小学校



殿田小学校



胡麻郷小学校



美山小学校



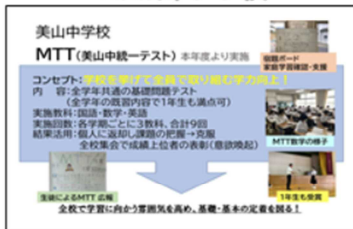
園部中学校



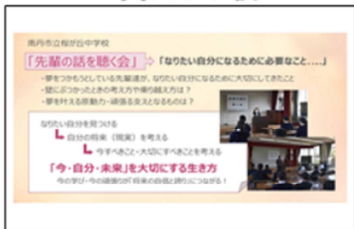
八木中学校



殿田中学校



美山中学校



桜が丘中学校

【南丹市 HP> くらし> 教育・生涯学習・文化・スポーツ> 各校の状況> 南丹市立幼稚園・小・中学校 特色ある教育実践】

園部幼稚園



私達、なわとびアイドルです！
～明日もしたい！遊びの継続と学びの深まり～

11月の幼年消防大会で見たコンサートをきっかけに5歳児のアイドルごっこが始まりました。必要な物を考え作ったり、友達と進行の仕方を考えたりして遊びを進めてきました。また、歌って踊るスタイルから、頑張ってきた縄跳びを披露するコンサートへと発展し、現在も続いている遊びです。遊びの中で、衣装、応援グッズ、照明、観客席、お客さんを招待することなど、アイデアは広がり、友達と協力する姿となってきました。教師間で保育を振り返り、明日の遊びへとつながるかかわりを共有し、学びがより豊かになる保育を大切にしています。

八木中央幼稚園



～稲刈り体験～ 体験活動が豊かな心を育てる

本園では、体験活動が心豊かな幼児を育てることにつながると願い、取り組んでいます。今年度は、5歳児が八木東幼児学園と共に田植え、稲刈り体験をする機会をもちました。地域の人より丁寧に教えてもらったり認めてもらったりする中で、優しさや温かさに触れ、触れ合いの喜びを感じることができました。その経験から「お世話になった地域の人にお礼がしたい！」「お米を洗って食べたい！」「おにぎりパーティーしよう！」と思いが膨らみ、パーティーを開催して気持ちを伝える機会をもつことができました。一つの体験活動から様々な経験へと広がっていききました。

園部小学校



6年生社会科の実践
「南丹市市議会議員の皆さんとの交流」

本校では、南丹市においては大規模の学校であるという強みを生かし、高学年で「教科担任制」を導入しています。

個々の教員の得意分野を活かし、教材研究を深め、児童が主体となる魅力ある授業づくりに努めるだけでなく、児童理解や学習意欲の向上に教職員がチームとして取り組んでいます。今後も、「はじめに子どもありき」の理念のもと、「チーム園小」として、集団の中でも一人ひとりが輝き、成長できる取組を推進していきます。

園部第二小学校



- わくわくすることを大切に
- なぜ勉強するのか
- 私の歩んだ道
- 仕事と生活(家族)
- 夢を叶えてきたこと
- 動機は人を喜ばせたい
- 明確な目的の大切さ
- 人生の目的は幸せになること

地域学校協働活動の様子
【第6学年キャリア教育
「さあ、行こう！最高の未来へ」】

本校では、「あいさつなど温かい言葉を交わせる子」を地域・保護者・学校が育てたい子ども像に掲げ、協働性の高い校区の強みを活かし、学校運営協議会を中心として地域総がかりの教育を進めています。

児童は地域の方々に関わっていただくことで地域の中で支えられ、育っていることを実感し、地域の方々に対し、「ありがとうの花」の取組など、様々な形で「感謝の気持ち」を伝えています。

今年度は延べ約100人の方が学んでおり、今後も地域・保護者・学校が一体となって子どもの育ちを豊かにする教育活動を創り出していきます。

八木西小学校



八木西 大好きを世界に配信
南アフリカ共和国シロアム小学校とオンライン交流会

八木西小学校では、外国語科の取組で南アフリカ共和国のシロアム小学校と年2回オンライン交流会を実施しました。

学習した英語を使ってお互いの国や自己紹介をしたり、好きなスポーツなどを質問したりしました。英語を使ってコミュニケーションをとる楽しさを直に感じると共に、国境を超えた交流で人と人がつながるよさを感じる時間となりました。

八木西小学校では八木を想う郷土愛を育みながら、21世紀をたくましく、そして温かく生きる力につながるグローバルな学習にも取り組んでいます。「八木西 大好き」の心が世界にも広がる取組となりました。

八木東小学校



「地域安全マップ」を作成

本校では、地域の人材や関係機関とのつながりを活かしながら、児童の主体性を育んでいます。

今年度、保健環境委員会の児童が、南丹警察署や地元駐在所の方々と一緒に、「地域安全マップ」を作成しました。児童自身が日頃感じている危険な場所について話し合ったり、実際に現地に行って確認し合ったりしました。

このように、児童自身が作成に参画することで、危機意識だけでなく、地域の一員としての役割を果たす主体者意識を高めることができました。

殿田小学校



水害時発生時の避難の仕方の体験

殿田小学校では、「ふるさと学習」とともに、学校運営協議会及び学校安全協議会の皆様の協力の下、防災学習の一つとして「防災イベント」を実施しました。

このイベントでは、地域の関係機関の協力を得て、子ども達と保護者が、水害発生時の避難の仕方や避難所体験などの各ブースを巡り、様々な体験をしました。

この取組を通じて、地震をはじめとする災害時の行動の仕方や災害への備えについて親子で学び、防災意識を高めることができました。

胡麻郷小学校



「15年後の胡麻のまち」を大人と一緒に考えました

本校は、「地域から学ぶ」「地域で学ぶ」「地域と学ぶ」土壌ができている強みを生かした取組を進めています。

6年生は、地域の方との“つながり”をテーマに、高齢者の方と手紙や地域サロンなどで交流を深めてきました。そして11月には、胡麻の未来を考える「熟議」に6年生も参加。「15年後の胡麻のまち」について、地域の方や学校運営協議会委員、教職員の中に加わり、自分の思いやアイデアを伝えました。

大好きな胡麻のまちをいつまでも大切にしていきたいという思いは、大人も子どもも同じだということを実感する機会となりました。

美山小学校



放課後60分プロジェクト

本校では、毎週月曜日の放課後に、児童が好きなことをして過ごせる「60分プロジェクト」の時間を設定しています。

これは、児童の『休み時間を増やしてほしい』という意見や、『平日、家に帰ると近所に友達がなくて遊べない』、『バス通学で運動不足になっている』、『子どもが自由に考えて過ごす時間がない』などの意見・課題から生まれた取組です。

この時間は地域の方に子どもたちを見守っていただいているので、地域の方々とふれあう機会にもなっています。

園部中学校



グループで各自の意見を紙に書き込み、それについて活発に議論をして考えを深めています。

2年生で「平和」についての学習を進めています。3年生での修学旅行の前に、「真の平和とは」「平和実現のために自分たちができることは何か」をテーマに設定し、学習を深めています。

現在も世界では戦争や紛争が勃発しており、多くの犠牲者が出ています。このような現状を他国のことと捉えるのではなく、現在の状況と過去の歴史に向き合い、未来の担い手として真剣に展望できる人になってほしいという願いがあります。この学習を通して、仲間の意見に耳を傾け、自身の意見をしっかりと持ち、価値形成に繋がることを期待して取り組んでいます。

八木中学校



あいさつ運動を発展させた「地域清掃」の取組

八木中学校では今年度、生徒会本部の発案で、あいさつをしながら地域の清掃活動に取り組む「地域清掃」を実施しました。当日は、PTAや学校運営協議会委員、民生委員の方々にもご参加いただき、全校生徒で一斉に学校周辺のゴミ拾いを行いました。清掃活動中に会った方々には積極的にあいさつを交わし、地域の皆さんとのつながりを感じつつ、八木町の環境美化に貢献することができました。次年度以降も継続して取り組みたいと考えています。

殿田中学校



【日吉駅の方々と清掃後に記念撮影】

「支えられる側から支える側に」殿田中学校生徒会では、この考え方を大切にして様々な取組を進めてきました。

令和5年12月末（クリスマスシーズン）に行った「感謝の清掃」はそのひとつです。生徒たちの活動の土台には、地域や保護者の皆様からいただく、温かい心に対する感謝の気持ちがあります。

これからも、地域の皆さんと共に、地域を支える力となる中学生の育成を目指して歩んでいきたいと思っています。

美山中学校



「わくわくスタディー」の様子

本校では、一小・一中の特徴を生かし、一つの学校運営協議会の下で、小学校と連携して地域に根ざした教育活動を地域とともに進めています。

本年度は新たな取組として、美山小学校の学力補充教室「わくわくスタディー」で身近な先生として自主参加した中学3年生8名が学習をサポートしました。

地域貢献に携わる実感と、自らの学びを深める貴重な体験となりました。

桜が丘中学校



介護を通して多くのことを学んだ一日

1月23日（火）に「福祉体験学習」を実施しました。本校2年生9名が園部町の「長生園」に訪問させていただき、施設の概要をはじめ、働く上で大切にしておられることや考えなどを詳しく聞かせていただきました。また、実際に提供されている「ペースト食」の試食をさせていただいたり、車椅子においての支援の仕方を学ばせていただいたりと、介護における多くのことを、体験を通して教えていただきました。入所されているお年寄りの方々と楽しく触れ合う時間も作っていただき、一人一人が多くの学びを得た一日となりました。